

大学 SDGs ACTION! AWARDS FAQ 2020

応募資格について

Q：個人でも応募は可能ですか。

A：個人の応募も可能です。

Q：他の仕事をしながら大学で研究をしています但応募は可能ですか。

A：給与所得のない学生や若手研究者を対象としています。

Q：大学や高専ではなく、国立〇〇研究所のようなところに所属をしている研究者も対象になりますか。

A：給与所得のない研究者は、対象となります。

Q：普段は社会人として働いていますが、NGOや学生・社会人サークルに所属していて、社会課題の解決に関する研究などを行っている場合は、対象となりますか。

A：給与所得がある方は、対象としておりません。

Q：海外からの応募、英語での応募も可能ですか。

A：海外からの応募も可能です。

- ・一次選考を通過した場合、最終選考会出席のため海外からの交通費も支給致します。
- ・最終選考会に日本に来ることが難しい場合は、事前にプレゼンテーションの動画（7分程度を予定）をお送りいただき、当日、会場にて上映します（英語の動画の場合は日本語字幕を入れてご提出ください）

Q：最終選考のプレゼンテーションは英語でも可能ですか。

A：最終選考のプレゼンテーションは日本語で審査をするため、英語でのプレゼンテーションでは、通訳（応募者様手配）をつけていただき、また、発表資料のパワーポイントには、日本語字幕をつけていただく必要があります。

※通訳込みで、発表時間は一律7分（予定）とさせていただきます。

Q：最終選考会に参加できないのですが、応募可能ですか。

A：日本国内の大学に通っている学生さんは、最終選考会への参加は必須です。

Q：チームメンバーの大学が異なりますが、応募可能ですか。

A：可能です。

Q：大学生と高校生の混合チームでの応募は可能ですか。

A：可能です。

Q：所属団体に会社員と学生の両方がいる場合でも応募できますか。

A：団体に会社員と学生の両方が所属している場合でも、プロジェクトチームの構成員が学生のみであれば、応募可能です。

同じ団体の会社員は、アドバイザーとしての関与のみ可能です。

Q：4月から大学へ入学予定ですが、応募可能ですか？

A：可能です

Q：中学生、高校生は対象ですか。

A：大変申し訳ございませんが、中学生、高校生は対象としておりません。

Q：プレゼンテーションは、大学生と高校生が混合でも可能ですか。

A：プレゼンテーションへの登壇は大学生（院生、ポスドク含む）のみでお願いします。

Q：最終選考・プレゼンテーション大会で行われる SDGs ワークショップには、中学生、高校生も応募可能ですか。

A：高校生も応募可能ですが、応募多数の場合は大学生が優先されることもございます。

応募書類について

Q：推薦者は、どのような人をお願いしたらよいですか。

A：どなたでも結構です。

Q：パートナーは個人でもよいですか。

A：個人でも結構です。

Q：影響を与える人（生き物）と、その総数にはどのようなことを書けばよいですか

A：より多くの人や生物の抱えている課題の解決につながるか、波及効果があるかという視点で参考にします。

Q：応募書類は返却してくれますか。

A：申請書類は返却いたしません。申請内容については、各グループ・団体にて控えを保存してください。

Q：一次選考を通過しなかった場合は、その理由などを教えてもらえますか。

A：大変申し訳ございませんが、個別の選考理由につきましては、お答えできません。

その他

Q：当日の拘束時間について。

A：リハーサルのため、午前9時ごろ集合となり、最終選考会終了後、レセプションがあるため、終了は20時ごろを予定しています。（レセプションは、ファイナリストや教職員の方々、関係者とのネットワーキングの時間となります。ご参加ください。）

Q：登壇者の旅費・交通費について。

A：最終選考会に登壇する学生のみ、2名分負担します。

- ・宿泊費の上限は11,500円、前日と当日夜の2泊までです。
- ・パッケージツアーも可能です。
- ・本人名の領収書を持参してください。(在来線は領収書不要)
- ・新幹線の駅、空港までの在来線、駐車場代も精算可能です。
- ・宿泊が不要な場合でも、在来線の交通費は負担します。

Q：登壇者以外もレセプションに参加できますか。

A：最終選考会、レセプションには、プレゼンテーション登壇者のほか、先生やチームメンバー、応援者にもご参加いただけます。ファイナリストとして決定し次第、ご参加人数をお知らせください。

以上